

校長室だより No 6

2018年 5月24日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津 健志

「運動会へのご協力ありがとうございました」

先日20日の日曜日の運動会につきましては、順延判断へのご理解も含め、ご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。おかげ様で予定どおりの運動会を実施することができ、目標としていた「合わせる」ということも、各学年なりの達成を見ることができました。

ホームページより行ったアンケート評価には、127人の方からご評価をいただき、自由記述欄を含め公表し、来年度の計画に反映させていきます。ありがとうございました。

アンケートは本日をもって終了いたします。結果は同じページに明日以降掲載いたします。

「忘れ物根絶に向けた取り組みにご理解とご協力を」

酒井根中学校区4校の生徒指導上の合言葉をご存知ですか？ 合言葉は「みそあじわ」です。み=右側通行・身だしなみ（中学校） そ=そうじをしっかりとやろう あ=挨拶をしよう じ=時間を守ろう わ=忘れ物をなくそう です。「わ」については、昨年の後半に付け加えられたものです。これは、夏休みに4校の先生が全員集まり、酒井根中学校に進学することを念頭に指導の系統性を検討する会議で付け加えられました。

忘れ物をなくすためには、忘れ物をしない生活習慣にしていくことが大切です。そのためには、学校と保護者の皆さんと同一歩調で子供への指導にあたることが大切だと考えております。運動会も終わり、学習が充実する時期に入りましたので、忘れ物をなくしていくためのキャンペーンにご理解とご協力をお願いいたします。

では、忘れ物の実態はどうであるか、22日と23日の両日に実態調査を行いました。

○忘れ物をした児童数は144人（29%）の児童でした。

○忘れ物の延べ数は202件でした。ハンカチやチリ紙といったものも含まれます。

○学習に関する忘れ物は119件、忘れ物全体に対する割合は59%でした。

学年ごとにみると、1年=28%、2年=76%、3年78%、4年60%、5年=79%、6年78%となりました。1年生は保護者の監督が効いているが、2年生以降はほぼ同率となっています。学習の忘れ物は、学習内容に直接関係してきますので、絶対に防がなければなりませんし、成長と共に取り返しのつかない忘れ物につながりかねません。

そこで、学校としましては忘れ物をしてしまったことを意識化し、忘れ物をしない習慣を育成するために、「忘れ物は取りに帰れないキャンペーン」を本年度より実施しています。

○登校中に家に忘れたことを気づいても取りに帰らない。（以前からのルール）

○下校中、下校後に学校に忘れ物をしたことに気づいても取りに来ない。（新ルール）

忘れ物をしたことにより、習字塾に行けなかった、スイミングに行けなくなった、ということが起きる可能性もありますが、痛い思いをすることを通して、失敗から学ばせていきたいと考えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。万一、本当に取り返しのつかないような忘れ物がある場合には、教頭までご連絡をいただき、内容を判断させていただきます。

この校長便り以降は徹底したルールで実施いたしますので、よろしく願いいたします。

私は各担任に対して、一人一人の子供の状況に応じて、個別指導に重点を置き、怒らず粘り強く指導するように指導してまいります。連絡帳を読む字で書くといった共通指導と同時に、忘れ物が目立つお子さんについては、保護者と担任との間で連携策を講じていくようにしてまいります。

忘れ物防止には、連絡帳への記入と連絡帳の確認。宿題などを行う時間を決める等のルーティン化、持ち物準備の時間、方法、確認方法を決めるルーティン化の3つが大切なポイントです。7月に再度2日間の実態調査を行い、取り組み状況の確認をしてまいります。

学校と保護者と一体となり、子供たちにより習慣をつけていきましょう。